



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)都筑区勝田町プロジェクト新築工事	階数	地上5F
建設地	神奈川県横浜市都筑区勝田町1216番外	構造	RC造
用途地域	指定のない地域、防火地域 指定なし	平均居住人員	250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2023年4月27日
敷地面積	2,200 m ²	作成者	石井 正治
建築面積	935 m ²	確認日	2023年5月16日
延床面積	3,501 m ²	確認者	関 秀樹



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	79%
③上記+②以外の	79%
④上記+	79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 1.7

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 開口部遮音性能:T-2以上。 2.5% ≤ [昼光率]建物全体、1.25% ≤ [昼光率]住居部分。 ビル全体の禁煙が確認されている。	Q2 サービス性能 居室14.57㎡/床以上。 排水VP(B)、消火SGP(C)、冷媒(C)を使用。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BPlm=0.70。 BEIm=0.74。	LR2 資源・マテリアル 節水マなどに加えて、節水型便器も採用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率79%。 光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

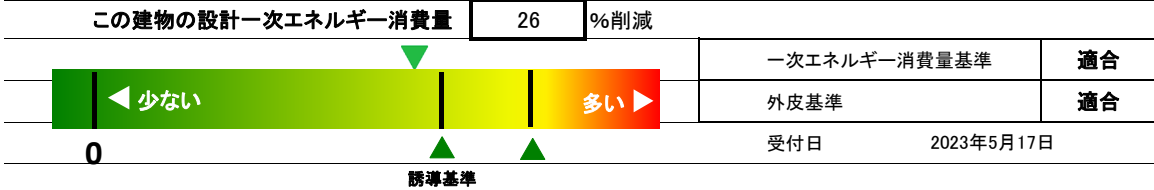


4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 (仮称)都筑区勝田町プロジェクト 新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 4**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

- ①BPI_m=0.70。
- ③BEI_m=0.74。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【快適・働きやすさ】 2**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

- ⑩2.5% ≤ [昼光率]建物全体、1.25% ≤ [昼光率]住居部分。
- ⑪ビル全体の禁煙が確認されている。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

- ⑫屋室14.57㎡/床以上。

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

- ⑰排水VP(B)、消火SGP(C)、冷媒(C)を使用。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.0
(仮称)都筑区勝田町プロジェクト新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.0

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										2.4
Q1 室内環境										2.7
1 音環境				2.9	0.15	2.8	1.00			2.8
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40			-
1.2 遮音				3.8	0.40	3.6	0.40			-
1		開口部遮音性能		5.0	0.40	5.0	0.30			-
2		界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30			-
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			-
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20			-
2 温熱環境				2.0	0.35	2.0	1.00			2.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50			-
1		室温		快適・働きやすさ		3.0	0.38	3.0	0.57	-
2		外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	3.0	0.43	-
3		ゾーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-	-
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20			-
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30			-
3 光・視環境				3.0	0.25	3.3	1.00			3.1
3.1 昼光利用				4.2	0.30	4.2	0.30			-
1		昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	5.0	0.60	5.0	0.60	-
2		方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-
3		昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.40	-
3.2 グレア対策				2.0	0.30	3.0	0.30			-
1		昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	2.0	1.00	3.0	1.00	-
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15			-
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25			-
4 空気環境				3.4	0.25	3.2	1.00			3.3
4.1 発生源対策				3.0	0.50	3.0	0.63			-
1		化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	1.00	3.0	1.00	-
4.2 換気				3.0	0.30	3.6	0.38			-
1		換気量		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.50	5.0	0.33	-
2		自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気環境	-	-	3.0	0.33	-
3		取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.50	3.0	0.33	-
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-	-	-	-
1		CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	⑪空気環境	-	-	-	-	-
2		喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気環境	5.0	1.00	-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			2.8
1 機能性				2.4	0.40	3.8	1.00			2.9
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60			-
1		広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	5.0	1.00	-
2		高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
3		バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40			-
1		広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	0.50	-
2		リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
3		内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50	-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	-	-	-
1		維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2		維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-			2.9
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-			-
1		耐震性		防災	⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2		免震・制振性能		防災	⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-			-
1		躯体材料の耐用年数		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
4		空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
5		空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	4.0	0.20	-	-	-
6		主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-			-
1		空調・換気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2		給排水・衛生設備		防災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-	-
3		電気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
4		機械・配管支持方法		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
5		通信・情報設備		防災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				2.6	0.30	2.4	1.00			2.5
3.1 空間のゆとり				1.8	0.30	1.8	0.50			-
1		階高のゆとり		1.0	0.60	1.0	0.60			-
2		空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-			-
1		空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
2		給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
3		電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
4		通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
5		設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2022年版v.1.0
 (仮称)都筑区勝田町プロジェクト新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.0

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-			1.7
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり		1.0	0.30	-	-			1.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり		2.0	0.40	-	-			2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-			2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり		2.0	0.50	-	-			-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ		2.0	0.50	-	-			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-			3.6
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-			4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能		5.0	0.20	-	-			5.0
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能		3.0	0.10	-	-			3.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能		4.2	0.50	-	-			4.2
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-			3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能		3.0	0.50	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能		3.0	0.50	-	-			-
集合住宅の評価				-	-	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能		-	-	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能		-	-	-	-			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-			3.3
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-			3.4
1.1 節水				4.0	0.40	-	-			-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-			-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-			-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-			-
2 非再生性資源の使用量削減				3.3	0.60	-	-			3.3
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.11	-	-			-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-			-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-			-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-			-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-			-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.22	-	-			-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-			3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-			-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-			-
1 消火剤				-	-	-	-			-
2 発泡剤(断熱材等)				4.0	0.50	-	-			-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-			-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-			3.3
1 地球温暖化への配慮				3.8	0.33	-	-			3.8
2 地域環境への配慮				2.8	0.33	-	-			2.8
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-			-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-			-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.5	0.25	-	-			-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-			-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25	-	-			-
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-			-
1 騒音				3.0	1.00	-	-			-
2 振動				-	-	-	-			-
3 悪臭				-	-	-	-			-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-			-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-			-
2 砂塵の抑制				-	-	-	-			-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-			-
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-			-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-			-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-			-
上記以外の重点項目				-	-	-	-			-
<事務用途>				-	-	-	-			-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ		-	-	-	-			-
				-	-	-	-			-
<住宅用途>				-	-	-	-			-
健康と安心				-	-	-	-			-
1 化学汚染物質の対策		健康・安心		-	-	-	-			-
2 適切な換気計画		健康・安心		-	-	-	-			-
3 結露・カビ対策		健康・安心		-	-	-	-			-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心		-	-	-	-			-